SKYNEW IN-2 ファンレス小型 PC 2LAN

Windows 11 Pro 動画再生試験報告書

公開日 2026 年 10 月 7 日 日本時間 | 提供された実機記録に基づく公開報告

本報告は 4K 30fps と Full HD 30fps の再生記録を比較し、用途選定に必要な結果と制約を説明します。4K 30fps は描画ドロップが多く、今回の条件では推奨しません。Full HD 素材は 12 時間 1.7 秒の再生を完了しましたが、描画ドロップは初期 2 回だけではなく、全体で 17 回でした。



図 1 実物の背面。2LAN と HDMI などの端子を確認できます。写真は再生性能の証明とは区別します。

対象	実際の記録時間	描画 / デコーダ	終了状態
4K 30fps	1 分 37.6 秒	1,864 / 0	監視停止で中断
Full HD 30fps	12 時間 1.7 秒	17 / 0	規定時間完了
4K 60fps	本報告では未評価	該当なし	推奨対象外

試験は記載された 1 台と条件に限られます。耐電圧試験、全端子の性能試験、全製品の品質保証を目的とした報告ではありません。

1 試験方法と条件

項目	確認内容
製品と OS	SKYNEW IN-2 2LAN / Windows 11 Pro
素材	京都愛宕山の 15 秒動画を繰り返し再生
Full HD 素材	1920×1080 30fps H.264 450 フレーム
4K 素材	3840×2160 30fps
再生と復号	mpv / d3d11va
Full HD 表示出力	1024×768 約 60Hz
4K 試験の表示出力	1920×1080 約 59.93Hz
取得方法	再生 JSONL センサーログ 逐時スクリーンショット
12 時間試験の録画	capture=true の記録なし
冷却条件	過去に氷による冷却あり 今回の継続有無は未確認

会話中の「2K」は、この報告では素材の実寸に合わせて Full HD と表記します。素材の解像度と表示出力は異なります。4K 画素の素材を読み込んだ事実は、4K ネイティブ表示の性能を証明しません。

スクリーンショットの上段にある再生情報と右下の監視情報を、同一時点のまま拡大しました。RAM は使用率であり、RAM 温度の測定結果ではありません。動画内の重ね合わせは記録の切替表現で、未記録の数値を補間していません。

2 4K 30fps の結果

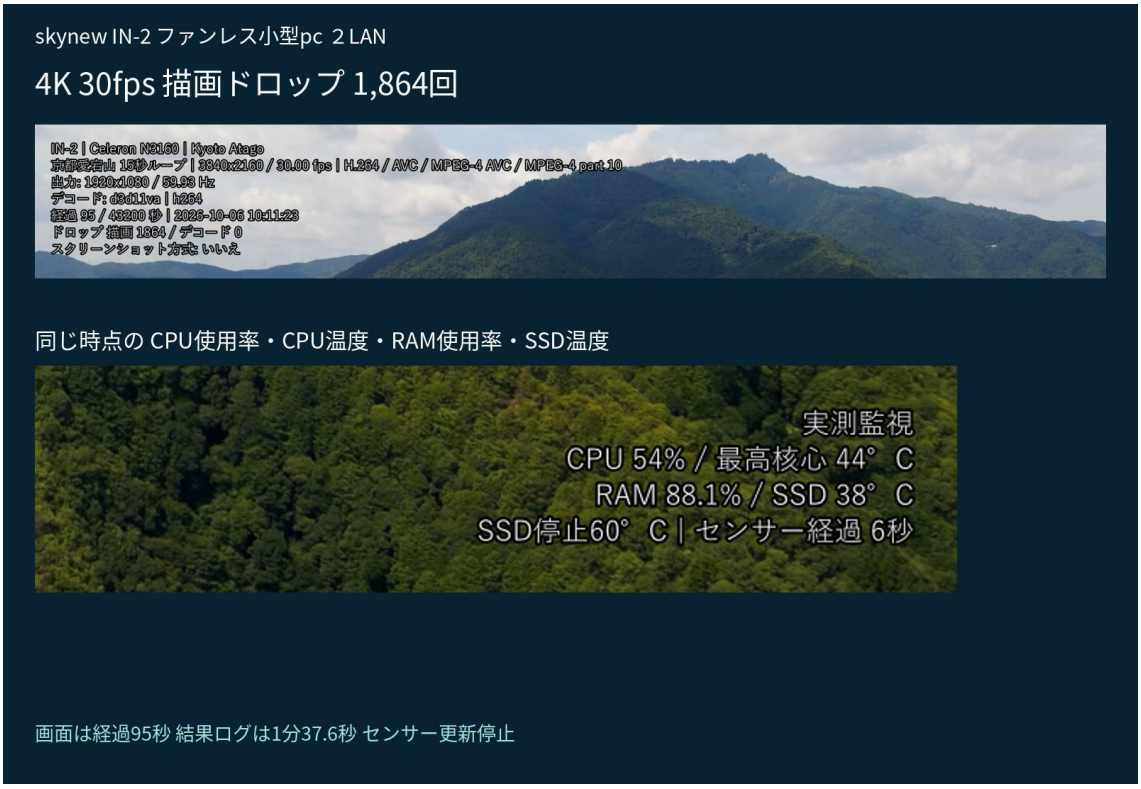

図 2 終了前の実画面。表示上の経過 95 秒と、終了結果 97.594632 秒は別の取得時点です。

Direct01 の結果ログは 97.594632 秒、描画ドロップ 1,864 回、デコーダドロップ 0 回です。completed=false、終了理由はセンサー更新停止でした。12 時間の 4K 試験を完了した結果ではありません。表示の滑らかさを重視する用途には推奨できません。

別の Formal02 には末尾経過 170.676369 秒、描画ドロップ 3,325 回の記録がありますが、完了結果がなく、Direct01 と合算していません。末尾ログの時刻を確定した総試験時間として扱いません。

補足録画ファイルは 29.93 秒です。録画自体の負荷や取得頻度の影響を受けるため、映像の見た目だけで再生性能を判断しません。補足録画の長さは正式試験時間に加算していません。4K 60fps は今回の完了評価対象ではなく、30fps の結果から推奨対象外としています。

3 Full HD 12 時間再生の結果

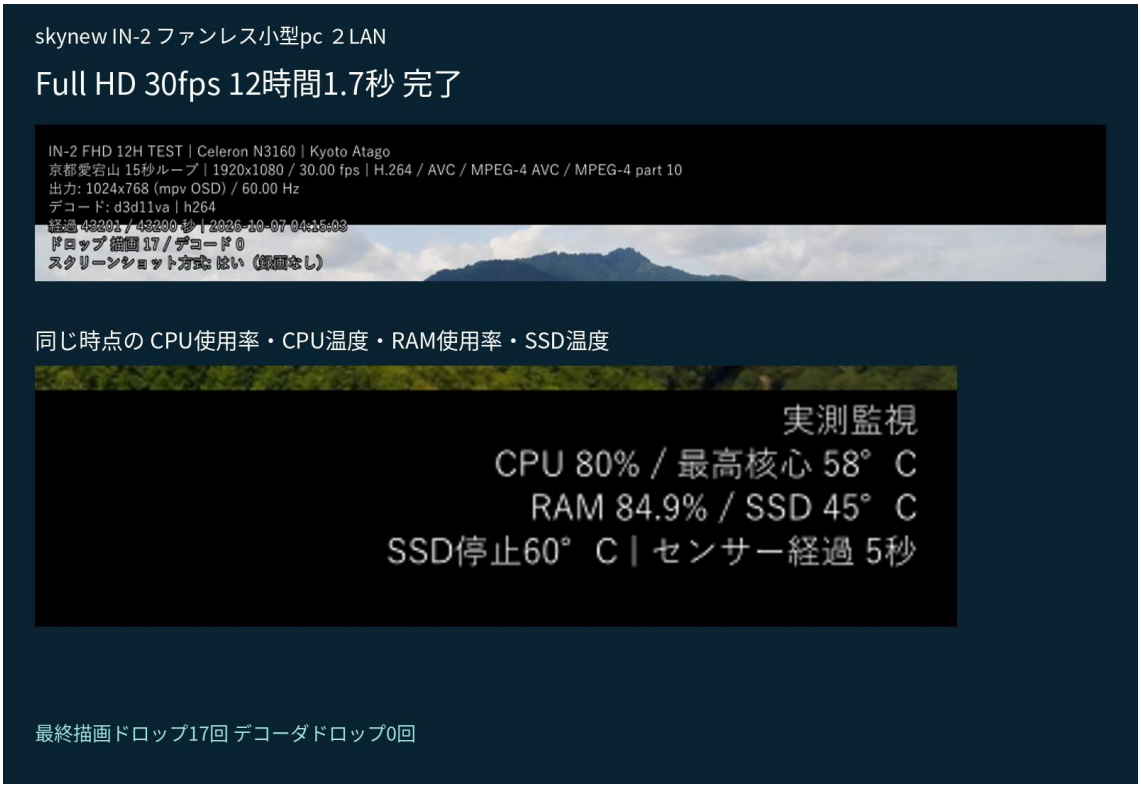

図 3 規定時間完了時の原画面から、再生情報と監視情報を拡大。

項目	結果
開始	2026 年 10 月 6 日 16 時 15 分 02 秒 JST
終了結果	2026 年 10 月 7 日 04 時 15 分 03 秒 JST
経過時間	43201.744792 秒 12 時間 1.7 秒
最終状態	completed=true 規定時間完了
描画 / デコーダドロップ	17 回 / 0 回
CPU / SSD 記録最高温度	63℃ / 45℃
C ドライブ空き容量 最小	22,769,205,248 bytes 約 22.77 GB

規定時間まで再生処理が継続し、温度・容量・監視の保護停止は記録されていません。ただし、途切れのない完全無欠の表示やネイティブ Full HD 出力を証明する結果ではありません。GB は 10 進単位で換算しています。

4 描画ドロップの推移

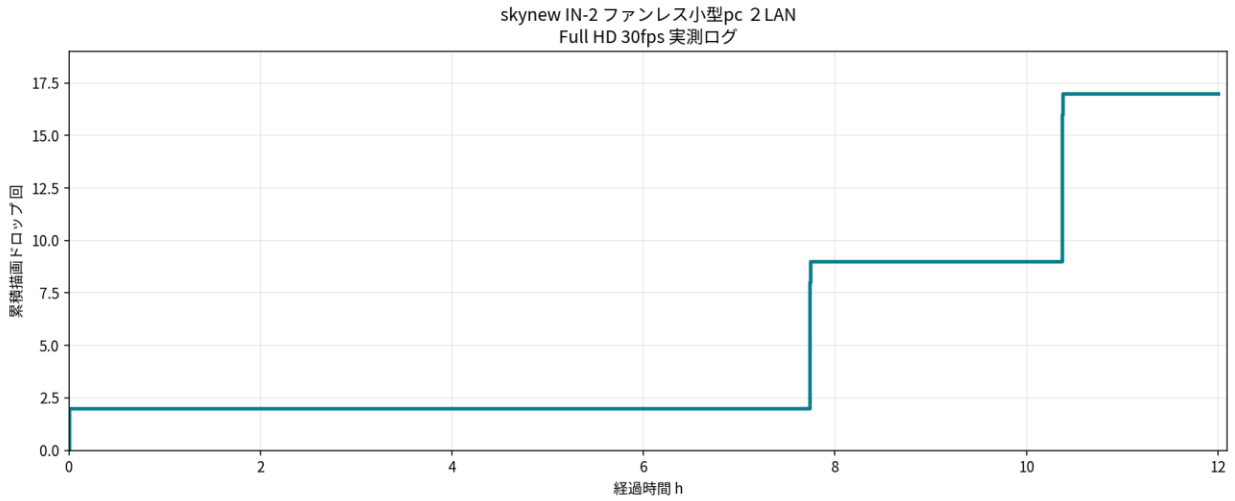

図 4 playback.jsonl の変化点による階段グラフ。点と点の間に未取得の測定値は追加していません。

経過秒	累積描画ドロップ 回
0.000	0
1.456	1
2.460	2
27859.911	3
27860.923	8
27862.940	9
37347.990	10
37354.019	16
37374.141	17

初期約 2.46 秒までに 2 回、その後約 7 時間 44 分と 10 時間 22〜23 分にも増加し、最終 17 回になりました。カウンターは描画ドロップの記録です。独立した失われたフレーム数や、総再生フレーム数に対する全期間の割合として読み替えていません。

5 記録品質と解釈の限界

確認項目	値または状態
再生ログ	42,975 行 最大記録間隔 2 秒
センサーログ	6,804 行 最大記録間隔 18 秒
読み取り復旧	3 件 すべて復旧
スクリーンショット	0〜12 時間 開始および終了
画面取得とドロップの関係	因果関係は未確定
室温と自然放熱条件	確定できる記録が不足

画面取得による CPU 負荷がドロップに関係した可能性はありますが、対照試験がないため原因と断定できません。12 時間試験は録画なしの記録であり、録画負荷を直接の原因とする説明は支持されません。

センサーのサンプリング間隔により瞬間的なピークを見逃す可能性があります。CPU 最高 63°C と SSD 最高 45°C は取得できた値の最大であり、全瞬間の上限を保証しません。冷却履歴が不明なため、常温の自然放熱だけで同じ温度を再現できるとは断定しません。

実使用前には、使用する画面の出力解像度、コーデック、ビットレート、ブラウザーやプレーヤー、室温と設置場所をそろえて確認してください。今回の短い素材のループ結果は、すべての配信サービスや長編動画への適合性を示すものではありません。

6 証拠画像と参照資料



図 5 1 時間時点の再生情報と監視情報。



図 6 12 時間時点の再生情報と監視情報。

同梱の 90_試験記録と参考資料/検証資料には Full HD の 0〜12 時間、開始・終了、4K 開始・終了前の原寸 PNG を収録しています。FHD_結果.json、4K_直接再生 01_結果.json、各 playback.jsonl、FHD_センサー記録.jsonl、変化点 CSV とファイルハッシュを参照できます。画像は掲載用に拡大していますが、原寸 PNG で文字を照合できます。

主な根拠は FHD12H ReaderFix の完了原記録と完了検証 JSON、Direct01 の監視中断原記録です。添付素材の記録を整理した報告であり、新たな実機試験を実施したものではありません。